

ひ よし 日吉神社のオガタマノキ

【昭和 38 年 12 月 24 日 県指定 天然記念物】

オガタマノキはモクレンの仲間で、
神社によく植栽される常緑高木じょうりよく こう ぼくです。
神前に葉を供えて神霊を招く「招霊
(おきたま)」が転じて「オガタマ」
になったことが名前の由来とされて
います。

また、その実は神楽の舞い手が持
つ神楽鈴かぐら すずの形によく似ています。

オガタマノキは現在でも神事に使
われ、日吉神社では御神木ご しん ぼくとされて
います。



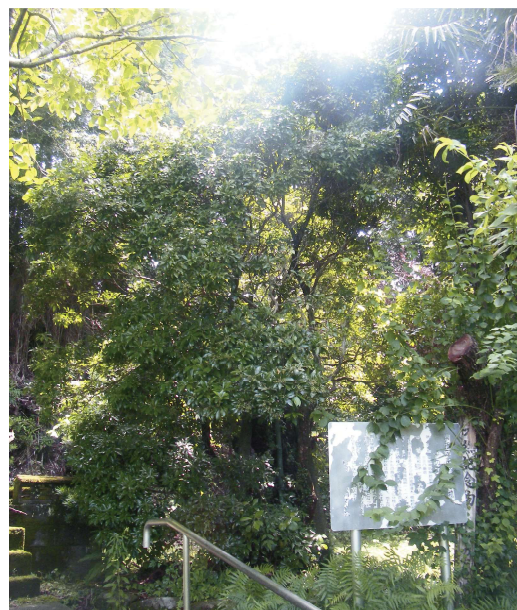
◀オガタマノキの実

やま なか 山中のアセビ

【昭和 41 年 10 月 1 日 県指定 天然記念物】

アセビは里山に自生する常緑の低木
です。中でもこの「山中のアセビ」は
まれにみる巨木です。地上 2.5m の高さ
から三つに枝が分かれ、地上 40 ~ 90
cm までは幹に大きな空洞を形成して
います。

現在は樹高 2.9m ですが、以前は見上
げるほどの大木で、その樹齡じゅ れいは約 1000
年と考えられています。



※私有地内のため、立ち入りはできません。